

「低侵襲の新しいソケットリフトテクニック・ハッチリーマーセミナー」

講師：イージェカン (HanYang大学付属病院客員教授)

日時：平成23年1月16日(日)

場所：東京・上野公園トーゼイビル

太田 文生 (東京都)



平成23年1月16日(日) 本会会員30名の参加の下、平成23年度第1回特別研修会が上野公園トーゼイビルB1Fにて開催された。

講師である37歳のイージェカン先生は韓国ソウル市内で開業されていると共にHanYang大学付属病院客員教授でもあり、また歯科補綴専門医、顎関節専

門医でもある韓国の歯科医師である。

今回は「低侵襲の新しいソケットリフトテクニック・ハッチリーマーセミナー」と題して通訳を介して約4時間講演とデモ・模型実習が行われた。

ハッチリーマーとはAhnにより開発された特別な開削器具を無注水下で50rpmの低回転で使用することにより、一定の継続的な圧力で歯槽骨を円形に切削し徐々に残存骨を菲薄化し、やがて缶詰めのフタが開く様(ハッチが開く様)に上顎洞底を円形に拳上するソケットリフトである。

上顎洞底を拳上して骨造成する方法としては、主に側方よりを開窓を行い骨移植を行うラテラルアプローチと歯槽頂からアプローチするクレストルアプローチとしてのオステオトームなどがある。

今回の講演は、これら様々なサイナスリフトの例を挙げ、ハッチリーマーの優位性(他社ドリルとの



比較)、ハッチリーマーを使用した症例報告、骨補填材やシュナイダー膜の穿孔の対処法など様々なお話しをうかがう事ができた。

更に今回の特別研修会では、途中1時間、模型を使って実習を行い、ハッチリーマーテクニックを学ぶ事ができた。

カン先生は模型を使用したデモの後も通訳を隣りに引き連れ積極的に個々の会員の先生の質問に熱心に答えるなど短い時間ではあったが、非常に有意義な時間を過ごさせていただいた。



デモ・模型実習